

かわさきTMO通信

<かわさきTMOの最新情報はホームページで閲覧できます>

2018年9月号 No.71

- 平成30年度通常総会のご報告
- サブタウンマネージャーから
- 事務局たより

発行元：かわさきTMO
 発行責任者：会長 猪熊俊夫
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克
 発行日：2018年9月1日
 発行部数：2,000部
 ◆連絡先
 TEL：070-1458-5568
 Email：okuyama-tmo@outlook.jp

「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

●平成三十年度かわさきTMO通常総会のご報告

六月十八日(月)、川崎信用金庫本店二階会議室にて、平成三十年度かわさきTMO通常総会が開催されました。

第一号議案として、サブタウンマネージャーの新設が諮られました。平成二十九年四月、かわさきTMOの事務局を川崎駅広域商店街連合会が担うことになり、新たな体制の中、活動は一定の成果を挙げることができましたが、この一年を総括し、今後の活動の活性化を実現するにはさらなる体制強化が必要であり、タウンマネージャーの補佐としてサブタウンマネージャーという役職を新設したいという説明がされました。結果、新設は承認され、サブタウンマネージャーとして、平成二十九年第四回まちづくり部会で、「川崎銀柳街における街づくりの取組について」をテーマに説明していただき、優れた見識と技量を発揮されました大木淳氏の就任が決まりました。

第二号議案は平成二十九年

事業報告及び事業費決算書についてで、総会、役員会の開催は基より、まちづくり部会の開催、インバウンド事業、バスカー事業、はみ出し看板・商品等の規制活動(商店街パトロール)、駅周辺の通行量調査の実施、勉強会の開催、「かわさきTMO通信」の発行、ホームページの新設、市議会議員各派との懇談会開催等の事業と事業費決算書について報告されました。

第三号議案は平成三十年度事業計画(案)及び事業費予算(案)についてで、平成二十九年と同様の事業を実施致しますが、今年度はワークシヨップの開催を重点課題と致します。その内容は加盟団体及び川崎駅周辺で活動する諸団体を対象に、街の活性化に向けた具体的な取組を睨んだ情報共有を目的とし、次のテーマを想定しています。

- 川崎駅周辺の現状認識
 - アクセスの向上と広域連携
 - インバウンド対応の有効性
 - 公共空間の利活用
 - チャンスが生まれる街
- 開催は3〜5回を予定しています。

事業費予算(案)については、今年度は委託事業費が昨年に比し、二百万円(移管された事業があるので実質百二十万円)減額の四百万円となりましたが、より有効に使用していく旨の説明がありました。

以上、すべての議案が満場一致で承認されました。



懇親会

総会終了後、会員間の親睦を目的とした懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中、今後の川崎駅周辺の発展等をめぐっての熱き想いも語られ、おおいに盛り上がりました。

●サブタウンマネージャーから 就任のご挨拶

本年度よりかわさきTMOサブ
タウンマネージャーに就任いたし
ました大木淳と申します。

都市計画を専門として、神奈川県
を中心に首都圏の様々な地域のま
ちづくりを手掛ける中で、ご縁があ
って川崎駅周辺のまちづくりに尽
力する皆様のお手伝いをさせてい
ただくこととなりました。

川崎駅周辺は古くは東海道川崎
宿に端を發し、1872年の川崎開
業による都市機能の集積を基盤と
して、1900年代から進められた埋
立事業によって戦後には鉄鋼業や
石油精製・石油化学などの多くの企
業が集積した臨海部との関係から、
長くそうした企業の就労者と古く
からの住民の生活を支える商業・業
務地として発展してきました。こう
した発展の背後に、少なからずネガ
ティブなイメージで語られる側面
があったことは否めません。しかし
ながら、近年は首都直近の好立地と
いう経済効率が注目され、市全体
では人口一五〇万人を突破、川崎駅

周辺及び臨海部では様々な都市開
発や企業立地が進行中であり、かつ
てのイメージはむしろ独特の魅力
として肯定的に捉える向きも生ま
れつつある中で、“住みやすさ”“働
きやすさ”を求める市民が“川崎”
に重ねるイメージは確実に変化し
ていると言えます。

かわさきTMOが目指す川崎駅
周辺の“活性化”とは何を示してい
るのでしょうか。都市において商店
街の歴史的な役割は、市民生活をよ
り豊かなものへと、その直接的な支
えとなっていたことであり、川崎駅
周辺のように現在も刻一刻と変化
し発展を続けている中においても、
この役割に変わりはないのではな
いでしょうか。都市の成り立ちと商
店街の根源的な役割を顧み、将来に
向けて今やるべきことは何か、皆様
とともに考えていきたいと思いま
す。

大木 淳（おおき じゅん）
都市デザイナー／1970年生まれ／
株式会社オクトプランニング&デ
ザイン代表取締役

第一回「かわさき未来づくり

ワークショップ」開催のご案内

川崎駅周辺の活性化に向け、次世代
のための明るい未来を創造してい
く具体的なアクションを生み出す
ことを目的とした「かわさき未来づ
くりワークショップ」を開催します。
ご参加をお待ちしております。

日時：九月二十六日（水）一四時半
会場：川崎区役所（パレール三井ビ
ル）7F 第1・2会議室

《お申込・お問い合わせ》

かわさきTMO事務局(松村まで)
電話：044-233-8874
E-mail:m-kosyoren@ace.ocn.ne.jp

◆事務局たより◆

いま、川崎駅周辺を取り巻く環境
は大きな変化の中にあります。

首都圏の諸都市では、新品川駅や
横浜駅西口などオリソピックに向
け、槌音高く都市改造が着々と進ん
でいます。川崎駅周辺でも、北口自
由通路の開設に伴う新たな商業空
間の開設やさいか屋跡地やマルイ
撤退後の商業施設の展開が続きま
す。街は「生き物」です。かわさき

TMOに集う関係者・関係機関がこ
うした大きな環境変化のなか、「何
をすべきか」を意図し、自身も変わ
ることを恐れず、具体的な提言と自
らの努力を続けていくことが問わ
れています。そうした問題意識のも
と、九月二十六日に「未来づくりワ
ークショップ」を開催します。これ
は、先の「かわさきTMO総会」で、
サブタウンマネージャーに就任いた
だいた大木淳を中心に多くの参加
者を迎え、現状から課題を探り、課
題解決に向けた具体的な方向性を
描くものです。【日進町UNICO】
での新潮流、【銀柳町まちづくりル
ール】、【川崎駅東口プレミアムパ
ースポート】の出版、【西口ハッピーサ
ークル】の盛り上がりなどの動きに
目を凝らし、そうした動きを担う一
人ひとりの意見と声に真摯に向き
合い、川崎駅周辺の未来に向けた具
体的なアクションを生み出すこと
を目的としています。温故知新かわ
さき、これまでかわさきTMOの辿
ってきた道のりを踏まえ、新たな展
開に踏み出すこの企画に多くの皆
様のご参加を期待しております。
(リエンコーディネーター 伊藤和良)